京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價（一號▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓）
月曜日及大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓▲特別欄特別廣告五割增
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久辨一郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通（電話六六三）

雜錄

漢城より

（二十二日） 無韓面生

▲韓國に入込みたる邦人の職を求めて得ず、余儀無く徒食して他人に迷惑をかける者少なからざるは、吾等の遺憾とする處也、

▲或は曰く、何の目途も無しに來韓する者が夥しき也、若し爲す事もなく徒食するは甚だ不可、斯る徒輩の無くんば宜しく去るべし、斯る徒輩の存在するは韓國の面汚しなりと、

▲之れを一面より見れば誠に然る觀も無きに非らず、然かも吾等の職業とする處は種々に理由あり、吾等は專ら職を求めて得ざる人々の爲めに悲むもの多きに在り、

▲優勝劣敗、適者生存等の語は吾等に眞實を告ぐるに相違無きも、人間の世に在りては常に如上の熟語が示す以所の成者有りて、假し恒久ならずとも人間を支配するもの也、即ち運命是れ也、凡ゆる場合に於て最も好き運命を捉ふるは必ずしも優者ならず適者ならざるは吾れ人共に見聞し判斷し得る處なるに非らずや。

▲故に吾等は在留邦人の總てを區分して、優勝者と不運者に分たんとす、優勝者若しくは適者を以て得たるべからざる者、或は劣者と不適者に歸かるゝ者とに類別するを欲せず、固より一々に詮索すれば之れを爲し能はざるに非らず、然れども其の之れを爲すは劣者を擯斥に、不適者を適者に選びるの方法には非らざる也、

▲吾等は在留の不運者の爲に韓國に於て桂庵の公設せられんことを希望する者也、最近本國の首要なる一二の都府に於ては桂庵公設の論議頻々として聞く、吾等の韓國に於ける理由は必ずしも本國に於ける夫れと一致せざるも、韓國の開發や、又は所謂同胞の面目保持や、是れに依りて益する處決して尠少ならざるを想へば也、此の業にして適當に管理經營されなば、邦人の來韓する者は先づ以て徒食の憂なかるべく、然らざるは來韓せざることゝもなるべし、退韓命令を發し得る當局者は、少くも桂庵を公設する程の親切心は是れ無かる可からずと思ふ、否か、

雜錄

●濟州島の椎茸採取

木浦理事廳の調査に依る最近濟州島の椎茸採取の情況は左の如し

△漢拏山の位置 濟州島は緯度の上より見るに我南肥と平行し濟州府は韓國木浦と同緯度の上にあり今ま同島に於ける椎茸の特產地たる漢拏山は其高さ海拔約七千尺を超へ椎茸採取に適する位置は同山を四三千尺以上にあり

△椎茸採取と山林 漢拏山一帶の山林中椎茸採取に適する山林は七千町歩乃至八千町歩の間にあり全部官有地に屬し同山を中腹帶下部林の全部に亘り椎茸の產する樹木の種類はシヂ種にして十中の八九迄はシヂなり

△山林使用の手續 椎茸採取に要する各種立木の賣受は農商工部山林局立木特賣出願に依るものなるが許可を受けたる者より其權利を讓り受くるも勝手なり又同時にても其契約を爲し得べし

△賣買相場と權利 立木賣受け價段は一本一尺縱平均十三錢位にして賣受けに依つて得たる權利は十年若くは十五年間なり

△椎茸採取業者 目下同島に於ける斯業者は長崎縣人川本逸、柳仁平、愛媛縣人藤田寛二郎、大分縣人西郷武十、仲野作太郎、加藤乃太郎、織水榮助、村谷新藏の八名にして實際同採收業に從事するものは西郷、川本、織水、上山の四名なり

△投資額と產出額 前記斯業者等の總投資額は約六萬圓に及び椎茸の產額は藤田寛二郎經營に係る分の年額五千六百圓を最多とし此の採取量七千九百斤なるが其他の從業者は着手後日尚淺く產額も未定なりと

△同島產品の品質 同島に產出する椎茸は凡て內地產の何れに匹敵するやと云ふに頗料頗る宜しく先づ靜岡產の上等品と見ば大差なからん

△同島の氣候地味 濟州府が福岡市に相當する緯度にある同島は氣候極めて溫暖に冬期濟州の最高峯と北部に積雪を見るのみなれば椎茸製造に好適す地味は燃質性の粘土にして木炭製造及び溜水に困難なるは缺點なり

△椎茸業と從業者 同業に使用の人夫は日人三韓人七の割合にて韓人は何れも日人の使役する所なり椎茸の栽植期に於ける多數の人夫を雇ひ入れ時期總れば月雇す賃金は一日三四十錢以內にて濟州島民の能く勞働に堪ふるは有名なり尚は同業の前途は益多望なる事を以て目下出願に係る石蕈業の外內地よりの經營者尠なからず

●韓銀營業の近況 平壤韓國銀行支店に於ける昨今の狀況を聞くに本年は昨年當時に比して貸出額は增加せる傾向あるが更に本年昨今に於けるものを調月本日に比するに調く貸出金は多少增加せる趣きなるが時期として引續き繁盛なりし營業狀態も目下際に其損上を經過したれば今後は漸次貸出金も增加するに至るべしと云ふ

地方通信

▲平壤通信

平壤手形組合所の昨年營業と同本年の營業狀況比較を聞くに昨年八月十五日現在同手形保證高は十五萬四千圓本年同月同日は十六萬八千七百四十餘圓にして著しき差はなきも本年に入りてより資金の回收捌纏の場合に於ては何等の惡反響なき狀況は平易に進み好の成績を以て行はるに至りたるが一齊同組合所監督の下に昨秋來發行を許したる於晉改善保證手形の流通狀況に就ては其最流通額の大なるものを共同組合とし次で各個人商取引者に至る迄一般韓商人の之が効力利益を認むるに至りたるより漸次其流通額を增加し且流通狀況も亦良好にして絕て不渡等の缺損を示さず大體に於て同組合所設立の効果は漸く實現するに至りたる事なるが前も猶右の無擔保手形の外擔保手形を於晉の流通せるものは夥しく存し又一般韓商人が不動產を擔保に組合所の手を經て相當割引を得農工銀行より融通したる資金の資金及之に依りて生じたる結果等に就ては頗る面白からざるものあるも之等は多く一般韓人商業の智識の幼稚なるの致す所なれば右の缺點に對しては今後政府に於て何等保證手段の發達を待つ外なかるべしと

●水道水質の良好 最近平壤同仁病院に於て分析檢査したる結果によれば平壤水道の水質は去日町街に於ける共用水栓を開放して後大に良好となり目下に於ける之が細菌數は百以下に下りたれば水道飲料水としては頗る優良なるものなりと云ふ

講談

大岡政談 越後傳吉

第五十五回 旭堂南陵

聞きも終へず傳吉が 傳「飛でもねへ事を云つて下さるな、百姓は不味い物を食つて働らくから冥加が宜い、こんな物を食べさして貰ひましたら、翌日になつて不味い物が食へ難くなります、却つて口を奢らしますでございます、滅相もない、酒なんぞの、私ア一切飲みましねへ、……こんな物があつたら、どうか此上地なと……する年貢をば滯りがねへやうに……へ、エヽ、滅相もねへ、どうぞ……」○「ハイ、お前樣のは尤もだけど折角持へたもの」傳「イエ、折角ながら斷りします、私は家から持つて來た揃へて呉れました辨當を食べれば結構でございます」○「ハア……」傳吉に威張られたので困りました、名主は傳吉が餘り質素過ぎるので「草鞋代を要込め」と草鞋代を餘計に包みました○「エヽ……もん無え」と仕方がねへ、花を直して○「エヽ、是は村方から出るもんで、これは草鞋代でござりやす」傳吉「飛でもねへ、この通り草鞋は一足で出ましたから、日一杯は大丈夫立ちます、怨なお金なぞは決して頂きません、飛んでもねへ事だ、旬纏れた片付を願ひます、さて皆さんこれから先きは決して出遊びなぞに來て下さるな、傳吉の廻村は酒飲みに來たり飯を食ひに來たり、名主方に羽織を引掛けて遊びに來るためぢやアございませんね、七箇村の村方の衆が揃まず屆せず油斷なく働いてござるかどいふ事を見屆けに來るのでがす、それにね御稼方が羽織なんか來て居つて貰ふては困ります、それよりかた前樣方が難渋して働いてゐるのを見るのが傳吉は何よりも嬉しうがす、傳吉が支配する七箇村に年貢の滯納があつたとか、水論があつたとかいふ事を云はれぬやうにして下されよ、切望皆さん油斷なく精働きを願ひますから左様なら」一同顔と顔とを見合せて「エレーもんだな」と感心してしまひました、ソコで傳吉が名主の間は蒙賞穀雜代が廢止になり、遊びを嫌してしまつた村々も農業を勵らく、それが傳吉の廻村よりの賞賛、七箇村の政事まで傳吉がいたしましたから、サア斯くの通り益々人に賞められてしまうの勢に



は打て變つて庄左衛門、庄藏の一家、村方が一圓親子を識る、情ない事には田舎は一ッ聡い事をするを邪に之れが擴まつて、子供に至るまで交際をしない田舎者の堅氣、庄藏が何か用があつてヒヨイと村を歩くと○「ヤイ〜」向ふへ通りやアがるのは庄藏野郎だ、泥棒野郎が通るぞ」と農業をして居る奴が土の塊をビユーッと放り付ける。庄左衛門が用達に行つてヒヨコ〜と秋を裳いて來ると○「オイ△「ヤア○「庄左衛門の奴が來アがつた構ふことはねへからな擲してやるべい一番……」此方の方に働いでゐる奴を故意と牽張つて來て○「ハイ〜危ねえかこれ、庄左衛門樣何處へ行ぞ庄「ハイ、此方へ寄つて居ります○「お前樣、其方へ寄つても乃公の方は避けられねへが庄「そこさい立ちますからこの道の狭い所へ立てます○「立つて御座つても馬は何方へ行くか知れねへ、そりやア危ねへぞ」庄左衛門の鼻へ馬を持つて來る、庄左衛門驚いて跡へ退るを敵ぞとヲイと馬を突出しましたから、田圃の中へビシャーリと墜ちる○「ソーラ危へだ危へから用心しなさい」庄「ハイ〜」漸くの事に庄左衛門泥だらけになつて起上ると○「ヨー〜我家へ歸らうとすると、又向ふから△「庄左衛門樣、何所に行くだ庄「一寸此通し下さい△「お前樣の通る道はないぞ、お前なんぞは眞直な道を通れねへ、ヒン曲つた道を通りなさいよ、寛田村の中には泥棒の通る道は一寸も拵へて無へから」出れば斯ういふ工合に折檻られる、庄左衛門の方に奉公して居る下女下男なぞは村へ來ると皆褒のやうにいふ○「ヤイ、泥棒の奴下になつたな間抜め、そんなとこに何故奉公するんだ庄左衛門の方に奉公しなかつたら他に奉公が出來ねへか、泥棒の乾兒になるんだな」庄左衛門の家に奉公して居たら泥棒のやうに云れるから奉公人が暇を取る。

東京電報

▲臨時樞密會議 本日臨時樞密院會議を開き 聖上陛下臨御あらせられ桂首相以下各大臣出席する所ありたり(二十二日夜)

▲臨時内閣會議 樞密院會議を終ゆると直ちに臨時閣議を開けり

▲水害と土木費 今回の水害に對する一切の土木工事改修費は三千万圓を下らざるべし(同上)

▲艦隊射撃演習 第一艦隊薩摩、鹿島、香取、相模、周防、朝日、三笠の各艦は今二十三日館山灣に射撃演習の爲め横須賀より香取、宗谷、鎮遠の各艦舞鶴より千歳、日進、阿蘇、對馬等の艦隊各艦を參加すべし然れば本月下旬より九月中旬に亙り一諸附近は一大壯觀を呈するならん(同上)

▲外務省の繁忙 外務省に於て昨日來非常の繁忙を極め小村外務大臣及び石井次官倉知政務局長等夜に入りて後ち退廳せり(同上)

▲水害と國庫減收 水害に關する國庫の減收は地租百万圓以上に上るべく營業税金の減收を豫算すれば頗る巨額に達すべし又た一方更らに復舊費を加算すれば約七八百萬圓の巨額に上るべく而して國庫の減收は從來本年度豫算實行に差閊へ明年度の自然増收は減少となり國庫は臨時支出あるに不足を來たし爲めに我の財政に及ぼす影響少からず明年度豫算編成は一層困難にして從來の財政計畫に變更を來すやも計られず(同上)

▲水害と米減收高 農商務省最近の調査に依れば今回出水被害地は一府十四縣に亙り約二十五萬町歩浸水したるが右減收豫想高は三百五十萬石乃至二百四十五萬石の豫想なるが目下各地農事試驗場に向け詳細なる報告を照會中なりと(同上)

▲電車又々衝突 市街鐵道山の手線の電車は上野に於て前車の停留し居れるに衝突し車體を破壞し重輕傷者十六名を生ぜり(同上)

▲罹災民の窮狀 罹災地は旬日に及ぶも天候定まりなきを以て容易に減退せず例年なれば秋冷に苦しむ時節なるも本年は秋冷身に沁み罹災者をして饑寒交々迫るの窮狀に陷らしめ一方惡疫益々流行の兆候ありて救護上の處置は當分困難なるべし(廿三日)

▲民政長官の發表 遞信省管船局長内田嘉吉氏は臺灣民政長官に任ぜられ高等官一等に叙せらる(同上)

▲クルップ社支店 獨逸クルップ會社に於ては清國北京に同會社支店を設置する筈にて目下敷地選定中(同上)

▲本月第二旬貿易 本月第二旬に於ける外國貿易は輸出超過を示し其の超過金額百三十萬三千圓(同上)

▲前京大總長危篤 前京都帝國大學總長木下廣次氏病氣危篤(同上)

▲義勇艦隊新航路 露國義勇艦隊は明年一月より浦鹽斯徳よりオホーツク海、白令海峽、韃靼海峽等の新航路を開き之れに對し政府より五萬二千五百留下附する事となれり(同)

大洪水と諸會社(上)

今回未曾有の洪水に就て諸會社の損害を聞くに

▲東武鐵道株式會社 川俣鐵橋附近の堤防に少破壞を來したるのみにて列車の埋沒現業員の死傷等なく約一萬五千圓位の損害なり

▲東京製絨株式會社 向島大倉別邸に隣れる最低地とて浸水甚だしく僅かに倉庫にある物の外建物百坪一棟三十坪一棟等は損害を蒙り殊に花畑にありし「ダリヤ」等の植物悉く凋枯し園中の茶亭も溺沒の惧ありと損害約六千圓

▲日本製糖株式會社 本所區横網町なる同會社は浸水床上一尺に及びたるも損害なしと思はれず

▲東京瓦斯紡績株式會社 深川千住の兩工場は出水に先ち防備に着手し更に十二日より一千餘人の雜役人夫等防水に盡力せしも全部浸水し爲めに十七日迄の損害として公表せし額は極めて少額にして約三萬二千五百圓なるが向後猶ほ修繕に施設費を要するもの發見さるゝ所にして實際の損害は以上なるべし

▲王子製紙株式會社 本社内は四十年の出水より約一尺六寸の水準を示し工場内多少浸水せしが機械等には故障なく藥品一部浸水の外原料製紙には被害なし只だ石上井川より分岐せる用水路決潰の爲め十一日より操業休止の止むなきに至りたるが第一工場は十六日より第二工場は十八日より開始し又た靜岡の氣賀分工場及び中部分工場も多少の被害あり會社直接の損害は三萬圓内外

▲下野紡績株式會社 王子分工場は緊急防水の爲め浸水せず唯倉庫の一部浸水して綿花五十俵程一部浸水せり

▲東京製絨會社 同社構内平均四尺の浸水をなし流失品なく只倉庫の一部浸水し毛織物類の一部を濡らし用水路の破壞等あり損害約一萬五千圓

▲東京鐵道株式會社 浸水約四尺に及び新宿發電所にては發電機のボイラー一部に浸水し歸に復舊には三週間を要すべし損害約二萬圓内外なる可し(未完)

興王の召命參内

興王李熹殿は韓皇の御召により昨二十二日午後四時昌徳宮にて御對顏の上皇帝の御諮詢に奉答する處ありたりと

金中樞院議長御召

中樞院議長金允植氏は韓皇の御召により二十二日午後昌徳宮に參内せり

閣議と大臣動靜

二十二日は内閣會議の例日にて午前十時に到れば李總理を始め朴内相、趙農相、高度相、閔宮相等續々登閣し李學相は病氣の爲め缺席したるを以て以上五大臣にて會議を開き約二時間討議の後一同相携へて昌徳宮に參内して御前會議を開けり其結果李總理は趙農相を伴ふて統監邸を訪問し統監に重要談判は別項の如く開始されぬ而して間もなく兩相は統監邸を辭し更に御前に參内して皇帝に謁見して具さに言上する處ありたり夫より各大臣は自邸に引籠り何人にも面會を謝絶し居たりと

●流筏減少と江岸民 鴨綠江木材廠貯木場は新義州管内義州府龍岩浦北面北下洞に在りて毎年夏季に到れば同廠の流筏に從事し居住日韓人は生計の資を得居りしも本年は材林廠の如きは未だ一筏も流下せざる爲め殆んど苦境に陷り爲めて江岸所在の各地は稀有の寂寥を極めり

集會禁止令の發布

警務總監部は重要問題の解決進行に關し民心の動搖を絶對に防止せん爲め二十三日左の訓令を發布せり
當分の内政治に關する集會若くは屋外に於ける多數の集合を禁止す
右にて政社非政社に關せず何等の活動をも爲し能はざる事となるが其集會の程度は彼等幹部自等の評議會をも

●參與官會議の例會 廿三日午前十一時より總督府に於て參與官會議例會あり寺内、山縣、石塚、倉富、荒井、俵、宇佐美の各長官參列、明石憲兵司令官、大島總務長官等も出席して重要問題に就き協議せり

●參與官會議と統監 別項參與官會議には寺内、山縣の兩副統監も出席して重要問題に就き懇談を遂げたり

政治小言

所謂談判の端緒開く
▲半官紙京城日報の報道に曰く李總理は二十二日午後寺内統監を訪問し懇々數時間に及び寺内統監より茲に重要問題の端緒を開かれたりと、嗚呼談判の端緒分にして公開せらる半顯己に太陽の臨きを厭せずんばあらず
▲さは云へ余輩は重要問題の何たるを解せず、同時に談判の何たるを知らず、只臆測して斷局に處するものたるや、只臆測して談判の何たるを知るのみ
▲李總理入が寺内統監に向かつて何事を語りしや、余輩の聞はんとするところは非ず余輩の聞はんとする所は統監が李總理に向かつて何を語りしやにあり
▲而して夫れ今日に於ては最早問ふの要なし、只だ統監が李總理を相手にし重要問題に關する談判を開始したりと云ふ此談判云々に就いては不徹の余輩少しく異議の際無くんばあらず
▲談話已に定まり、國民の期待已に明かなるの今日我寺内統監の行ふべき事は其行はんとするてふを正に行ふにあるのみ、何を以てか李總理を相手に談判の類を當職するを須ゐん
▲那は談笑の間に決するを要す、何すれぞ夫れ行く數談判を要せん、寺内統監の覺悟亦當然なるべきを信ず、之れを定し知らずして年間新聞に於判を始め徒に韓人一流の空聞に組らるゝを苦しむと云ふべし
▲事は談笑の間に決すべきは、談笑の間に決するを要す。只茲に考ふべきは假令談笑の間に決すとなり、云へ、李總理は大事に相當なき事で寺内統監の賜剣なる大物を決するに當つて万々遺憾なかるべきを期せよ
▲今や統監の巨手共に運動を始む、日韓民の動搖世界の耳目は巨手に注まる、巨手か巨手か余輩は其巨手の巨なるべきを信ぜんと欲す

●排日新聞紙の押收 新韓國にて發行の大東共報四十三號及四十四號は治安に妨害あるものと認め其筋より頒布禁止の上押收されたり

●宮内府の工事休業 韓國宮内府にては同府構内の土木工事諸業務を兩三日間休止せしめたる由

●内地新聞又々押收 内地新聞の中治安に妨害あるものとして左の數紙は押收されたり
廿一日の大阪朝日新聞、大阪毎日新聞、廿二日の福岡日日新聞、九州日報

●帆船長暦丸の難破 成鏡北道明川岸に於て去る十六日日本帆船長暦丸(八十噸)難破乘組員五名行衞不明となれり

●龍山驛の乘降客 龍山停車場乘降客一等なし二等一三三等一四五名降客一等なし二等五名三等一二二名なり

●平壤書記官赴任 内部書記官平澤信氏は今回龍山驛に轉任する事となり二十三日午後九時南大門發列車にて赴任したる筈

●總江代議士出發 入京中の衆議院議員總江亀治氏は廿三日釜山へ向へり

英艦坐礁の後聞

濟州島附近に於ける英國軍艦坐礁に關しては三日夜統監府警務部長に訓電を發したる結果同警務部は軍艦坐礁に便宜して廿三日朝五時出發遭難地に向へり尚右に關し全羅南道及慶尚南道の警察部長並に濟州島山田警察署長に對し救助上相當便宜を與ふべき旨電訓を發したり又木浦警察署長の報告に依れば右英國軍艦は三隻にして内一隻は日本に向け航行し他の二隻は遭難地に在りて人命には別條なきものゝ如し之れがため木浦理事官並に同地警務署長は現場に出張せりと

篤農家の韓國視察

東拓會社にては韓國拓殖の方法として日本農業者の移植を謀るべく先づ其前提として全國各府縣の篤志家有力者を誘ひて實地觀光的旅行によりて深く韓國内地に於ける農事並に諸般の實情を視察せしむる計畫を立て同社經費より一府縣一人を選び(甲)府縣内に於て直接間接に移民に關係ある篤志家(乙)自ら渡韓して經營する希望あるか又は觀察の結果其地方に於て善良なる移民の紹介に盡し得る信用、經驗ある者にして(一)視察旅行に於ては内地の農民を了解し敢て一日七八里を徒歩し難からざる者(二)韓人農家を充つる場合あるべく(三)觀察の感想は本社に報告する事を以て内務農商務兩省に照會し府縣の推薦を經て人選を囑し路程其他規定を經りたるが視察員一行四十名中には代議士、府縣會議員、銀行會社重役、農業技師、經營篤志家等多く加はり相當の經驗を有する篤志家、技術者にして直接間接各府縣の産業上に多大の關係及勢力を有するが如し又中には七十餘歳の老人さへあり觀察期は未だ確定せざるも多分九月下旬若くは十月初めなるべく同社よりは二三社員を派して案内せしめ諸般の斡旋をなす由其觀察區域は南鮮釜山より北中部に到り旅行日數約二十四日なりと而して是等視察員は其結果を同社に報告すると共に各自其府縣下に於て

京城の外國貿易(關稅局の調查)

京城の外國貿易は隆熙元年(明治四十年)南大門停車場構内に保稅倉庫を建築し同年七月より同所に於て稅關一般事務の取扱を爲すに至りて著しく發展を告げたり今過去の其貿易額を擧ぐれば左の如し

年次	輸出價格	輸入價格	計
光武十年(卅九年)	八、五七九	三六、〇〇一	[illegible]
隆熙元年(四十年)	一四、三一〇	一、四九七、一五二	一、五一一、〇〇
同 二年(四一年)	二五、三五六	三、九二〇、四九〇	四、四五、一六六
同 三年(四二年)	四一、七三	四、七〇三	四、九二二、四〇一
同四年七月迄(四三年)	一〇三、一七九	三、〇〇九、〇一五	三、一一三、一九六

備考本表は再輸出入を含む
即ち本年に及んで輸出は七月迄に十四萬圓に達し輸入は三百餘萬圓にして之を前年同期に比すれば輸入は約五十五萬圓の増加を示し之を他の開港に比するも仁川釜山に次ぐの輸入額を示すに至れるは如上の發展は主として保稅倉庫の設置に伴ひ鐵道局と日本郵船會社との連帶運輸に依る貨物の出入を圓滑ならしめたるに依るものにして今一昨年及昨年の京城輸入額に付鐵道運輸に依るものと仁川回送輸入せしものを區別するに隆熙三年度に於ては鐵道運輸貨物三百七十四萬五千二百圓仁川回送百十五萬七千四百四十圓同二年度にては鐵道運帶二百六十四萬八千五百八十四圓仁川回送百二十七萬一千五百六圓にして斯の如く鐵道連帶貨物の増加著しきは畢竟海路仁川より輸入するものに比し鐵道運賃の割引以外に取引上種々の便利ある に基くものにして今一例を擧ぐれば從來貨物流行物等の商機を見て緩急敏速に取引を要する場合の如き又大阪よりの荷物積期は普通揚出後十五日後船便に依る時は荷物到着に十四、五日を要し金融上緊屈なるも汽車便なれば着荷迄約五六日の餘裕を存する爲め積込の都合極めて便利なる事あり是等の事情に依り京城直輸入は將來益々増加の一方なるべし

●馬賊著手に逮捕す 去る十三日義州光城面廳附近任佳浦八難貸商張允善方へ闖入し多額の金品を掠奪し去れる清人馬賊あり同地警察及憲兵隊は直ちに手を八方に配り所在を搜索せしに同面旭洞を距る十七八丁の丘上に潜伏せるを探知し十五日午後六時之を包圍して張福祥、李以桂、孫撤

大に韓國内地の實情を紹介すべく且つ將來移住民の爲に好個の誘導者となり一面地方篤志家と相呼應して韓國拓殖の基礎を作り得べしと尚ほ視察員の氏名職業並旅行日程等は既記の如し

山、王弘祥の四名を逮捕したる同類は全部六名にして二名は包圍の外に逃走せりと云ふ

●急行券の發賣規定 各支線より本線急行列車に乘換を爲す乘客は從來乘換驛に於て更に急行列車券の購入を要する爲め不便なるのみならず往々誤謬を生ずることあるより西部管理局にては左記各驛に於て便宜係員に該券を携帶せしめ乘降場に於て之れが發賣を爲さしむることゝせり
姫路▲京都▲大阪▲姫路▲岡山▲廣島▲下關▲門司▲海田市▲横川

●害虫の發生と驅除 成北府寧郡一圓は昨今害蟲の發生夥しく農產物の被害名狀すべからざるより當局者は邑民を勵まし之が驅除に力め又同地實業學校二年生徒を總出し莨を煮沸したる汁を以て驅除を施し殺蟲を計りつゝあるが成績頗る佳良なりと

●會議所の臨時總會 京城商業會議所にては二十四日午後七時より臨時總會を開き委員會にて調査したる定款改正の件を附議す

統監令息東京着

過日來京統監邸に滯在し東海道線の全通を俟つて當地を出發歸東の途に就かれたる寺内統監の令息寺内大尉は二十二日東京へ安着せられたり

●軍艦淀の仁川出入 帝國軍艦淀は廿一日午後九時仁川入港廿二日午前五時英艦遭難地に向け拔錨せり

▲龍山雜信▼

▲二十二日午後九時頃釜山發の急行列車が龍山驛より南大門驛に向つて進行中客車に投石したるものありて三等室の窓硝子一枚を破壞したりと由來京城龍山間の線路は汽車の通行甚だ頻繁なるにも拘はらず線路を通行する者頗る多くし之れは鐵道工事に關係ある人夫なるか線路工夫を見其附ての所行も有るべく又其人夫を見做ふて人夫ならざる者の通行するも多かるべし是等を覺悟しては偶危險を避する者あり斯くて線路を通行するとも咎むる事と能はざるも投石などなすは實に甚だしく何かの不測の禍に罹らんも知るべからず鐵道管理局にては向後は大に注意警戒する處あらん
▲日韓瓦斯電氣會社にて龍山に新築中なる發電所の建物は大概落成に近づきたり而して其他に注文したる機械は江口技師受取りの爲め同地に出張せしが少しく期限に遲るゝもならんとの事あらば該機械工事を終るとも電力不足の爲電車の運轉は當分現在のまゝなるべし

▲治外法權▼

廿二日李總理が寺内統監を訪ねた時は時局に關する總ての記事と共に治安に妨害あると認めて本社自らが本紙に掲載することを禁じた、ところが不思議な事には午後七時頃(二十一日)オホサカと云ふ人の名刺で電話が掛つた、曰く李總理統監訪問の記事は出しても差支ありませんと▲電話では顏は見られぬ、大塚だか何人だるかは本社の知らぬところだ、其知らぬ人から何を云つて寄越したのかて本社は信用せぬ、故に李總理統監往訪の記事は遂に出なかった▲すると本日の御用紙には談判の端緒開かるとして李總理統監訪問の記事が麗々と載せてある、シタ見ると何を書いても可いのか知ら▲ソレは扨置き御用紙の記事中李總理統監を訪問したるところ談判重要問題に及び、寺内統監よりは談判の端緒を開かれたりとは極めて振つて居る、談判の端緒とは一體何事の端緒か▲米國にも水害があつて日下二三州の豐作は不運の樣だ、北韓は已に水害に掛つて居る、内地の水害も相俟つて今年や水害の當り年かな、併し當るものに事なかれで水害では方が無い、天公少しく降雨に寄すなれ▲兩國の債務者が債務償還延期の爲に使用するに對して時局云々を口實に使ふソウだ口實に使はれる時局は何も迷惑せず、債權者が納れば結構な事だ▲朝鮮ソレや債權者が納れば結構な事だ▲韓國官憲はキャハヤに於ける邦人の賃業を禁止せんことを我領事に向かつて要求したソウだ、賃屋も正當なる營業の一つだ、之れが禁止を要求するとは非常識な話だ、併し清國官憲が此要求をなした理由の指標を聞いて見るとこれも邦人賃屋營業者が無暗に活躍するものと見られる▲京城に於ても質屋の親方は非常なものだ、右に付ある某質屋營業者の如きは自ら進んで取締官廳に向つて利子の引下げ及び營業振りの改善を斷行せんことを申出た位だ、質屋營業を立派なものにするには營業者に此心掛が無ければならぬ

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
廿三日	一一三、四七八、二一	三〇五

外人の視たる半島

右記事本日休載

松葉實 其同情心

▽某飴の顚論を讀む

人類間の虐待さへも防止するてとの至難なる今日に於て畜類の虐待酷使を防止することは全て得べくして到底行ふことの出來ぬは申す迄もない事であるのみならず徒らに構縣を衒ふが爲めに其の元を忘れて末に走るものとの批難もあらうが人類の虐待と云ふことは或る一少部分を除いては法律の規定があり社會相互に相當の保障があり且つ人類は其の苦痛を訴ふる機關——即ち言語を有し目や鼻や眉やの手傳ひを得て痛切に言語を異にする他國人にも其の意志を通ずることを容易であるから先づは牛馬犬羊の夫れに比して其の數に於て僅少であると云へば云ひ得られよう、更に角畜類に至つては甚だしき酷使者しくは虐待なしき飼養不良に非ざる限りは飼主以外の者には其の苦痛の度を察することも出來ない……

量を增加すること……

何百年かの實驗からでも此の位の理窟は判つて居るから相當の準備はあつても然るべきだ、而して此れは世界の實有が人間の爲のみに造られたるものとの謬習が人間に存せざる……

同情心を消磨せしめ……

訓諭せられんことを希望するものである、編輯諸氏に及ぶ、是れ……あらうふと思ふ（ひの字）

玉水樓主の奸策

▽酌婦三名の逃亡

危險至極な病人

果して事實か

營業停止の營業

太田山中の情死

女振り

小川勝平氏夫人 小川しま子

日光直射

蔭に午睡

牛と畜

松葉と雜草

諸看板製作

油繪肖像畫●硝子金文字入
ペンキ塗工事大勉强請負

永樂町二丁目
赤門通り
棋野工舍

제490호 1910. 8. 24.